

三島駅南口周辺開発（広域観光交流拠点・広域健康医療拠点）

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第15回の今日は、「三島駅南口周辺開発」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 三島駅南口の西側では、最近ホテルがオープンしましたね。

市長： 東急グループが事業主体となり、富士・箱根・伊豆の玄関口にふさわしい観光と交流の拠点として、「富士山三島東急ホテル」と商業施設「ミトワみしま」からなる「東急三島駅前ビル」が整備されました。先月6月30日に、開業式典が開催され、晴れ晴れしく開業を迎えたところです。

アナ： 改めて施設の概要を教えてくださいませんか。

市長： 「富士山三島東急ホテル」は富士山の眺望を最大限に生かした構成となっており、客室やレストランなどから、その景観を楽しむことができます。13階のホテル直営のレストランでは、箱根西麓三島野菜や駿河湾の海鮮など、地域の食材を、「炉端焼き」のライブ感を楽しみながら、和洋にアレンジした料理を満喫することができます。14階には宿泊者のみが利用できる展望温浴施設があり、地上60メートルから、富士山のほか、箱根山麓や駿河湾を望むことができます。

アナ： 富士山を眺めながら、お風呂に入ったり、地域の食材を楽しんだりできるのは魅力的ですね。商業施設「ミトワみしま」にはどのようなお店が入りますか。

市長： 「ミトワみしま」は施設の1・2階で構成されており、地域の特産品を販売する店舗や、沼津港直送の新鮮な海鮮を味わえる飲食店のほか、カフェやバルなどもオープンしています。施設には、誰もが利用できる雑壇状のテラスが配置されており、富士山の眺望を楽しむことができるほか、水の仕掛けや植栽により、水と緑を感じられる憩いの空間が演出されています。

アナ： ホテルに泊まらない人も、新しいお店やテラスを利用できるのは嬉しいですね。

市長： この施設が「広域観光の推進とガーデンシティのまちづくり」に繋がることはもちろんですが、富士・箱根・伊豆への起点となる三島駅前の新たなシンボルとなることが期待されます。皆様もぜひ一度、足を運んでみてください。

アナ： 私も早速、行ってみたいと思います。

西側ではホテルがオープンしましたが、東側の再開発事業は現在どのような状況でしょうか。

市長： 三島駅南口東街区再開発事業は、これまで市民の皆様にご説明し、ご意見を伺いながら進めて参りました。現在は、まちづくりのルールを定める、都市計画決定に向けた手続きを進めているところです。新型コロナウイルスが流行した影響で、当初予定していた都市計画の決定・変更に関する説

明会を延期していたところですが、インターネットを利用して、資料や説明動画を公開するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に最大限の配慮をした方法で、多くの皆様へ周知を図ったところです。

アナ： 市民の安全を第一に考えて、手続きを進めているということですね。

西側と東側で事業の違いはありますか。

市長： 西側のコンセプトは、「広域観光の推進とガーデンシティのまちづくり」であり、先程ご紹介したとおり、「広域観光交流拠点」として、ホテルを核とした複合施設が整備されました。

東側は、「市民の健康づくり」などがコンセプトであり、「広域健康医療拠点」として、医療施設や健康増進機能のほか、商業施設や駐車場、住宅とホテルなど、さまざまな機能を有する複合施設の整備が予定されています。

アナ： 西側と東側でコンセプトは異なりますが、どちらも重要な役割を担っていますね。

市長： 三島駅周辺は、集客力、発信力、ゲート機能といった駅前立地ならではの優位性があります。この優位性を十分に生かすためにも、開発コンセプトに沿って、西側と東側のそれぞれに、特色ある機能を導入していくことにより、にぎわいと交流の拠点として整備したいと考えております。また、商店街との連携や回遊性の向上にも取り組み、駅前だけでなく、周辺への波及効果の向上に努めて参ります。

アナ： この事業の成功には、市民一人ひとりが三島の将来について関心を持つことが必要ですね。

市長： ぜひ、前向きなご意見、ご提案をお聞かせください。

三島駅周辺グランドデザインの実現に向けて、ともに力を合わせて、取り組んでいきましょう。皆さんに関心をもっていただくことが、この事業を成功に導く第一歩だと考えています。そして、皆さんに喜んでいただける場となり、三島市の持続的発展に結ぶものとなるよう引き続き取り組んでまいります。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。